



平成19年度 乳用牛改良体制強化対策事業



日本中央競馬会特別
振興資金助成事業

■ 牛群検定情報を活用した ■ 情報を現場で活かす取り組み



(社)家畜改良事業団

〒107-0031 東京都中央区京橋1-19-8 大野ビル2F

TEL 03-3561-8191 FAX 03-3561-8166

E-mail:webmaster@liaj.or.jp URL:http://liaj.lin.go.jp

徳島県立畜産研究所(牛群検定情報分析センター)の事例

グループ別勉強会が 県内各地で 開催されています！



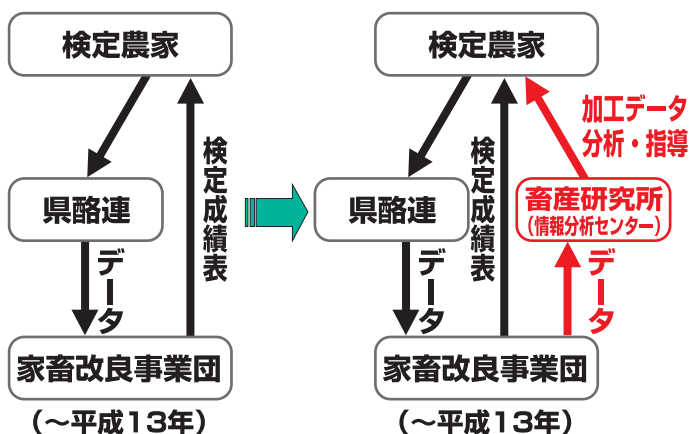
畜産研究所の支援により県内の
検定農家で地域や飼養形態・経営
形態が近い農家同士で小グループ
を形成。「行動力、観察力の習得」
を目指して月1回勉強会を開催し
ています。



牛群検定情報を現場で活かすには

- 第一に「身につけた知識を使う行動力」**
 - 第二に「飼養環境の違いを把握する観察力」**
 - 第三に「牛の状態変化を見極める観察力」**
- が大切です。

徳島県畜産研究所（情報分析センター）の位置づけ



平成13年の農業関係試験場の再編整備時に、牛群検定情報分析センター業務を見直しました。

さらに牛群検定指導を主な仕事とする情報経営担当を2名配置しました。

牛群検定データを現場で活かす取り組みについて

①「牛群検定を活用する研修会」の開催



牛群検定の成績表を通信簿的な役割から、経営を改善するための道具へと変えるため、研修会を毎月1回開催しています。

平成16年度から休みなく続く研修会には、延べ1,100名を超える参加がありました。時には写真のように酪農家が体験発表することも！！



②「地域・仲間単位のグループ勉強会」の開催



グループ勉強会は午後から始まります。勉強会の日には午前中に担当者が農場を回り、牛の状態をチェックします。

酪農家は勉強会前に、牛群検定成績表の個体成績から、ほしい情報をノートに転記しておきます。



転記したノートには蛍光ペンで乳量順に色分けを行います。

そして、グループ勉強会では、経営改善のためにどんな行動をしたか報告し、検討が行われます。

酪農家は、自分の農場以外の牛群を知ることで観察力が養われます。



③検定データ集計システムの開発

乳量増進集計		月日 検定			産乳成績					
【注意】検定結果はあくまで目安であり、必ず牛の状態を見て判断すること (特に分娩後3ヶ月以内の牛には注意！)										
合計										
検定乳番号	乳量	脂肪	蛋白	乳脂固形	非脂肪固形(%)	MUN	検定結果	検定結果	飼料給与状態	
バルク乳	206.7	3.90	3.20	8.66	19.7	9.6	満足	満足	エネルギー不足	
40kg位										
検定乳番号	乳量	脂肪	蛋白	乳脂固形	非脂肪固形(%)	MUN	検定結果	検定結果	飼料給与状態	
6	401	3.75	3.30	8.79	3.0	10.4	満足	満足	普通	
平均	401	3.75	3.30	8.78	3.0	10.4				
30kg位										
検定乳番号	乳量	脂肪	蛋白	乳脂固形	非脂肪固形(%)	MUN	検定結果	検定結果	飼料給与状態	
3	309	3.99	3.19	8.56	18.4	8.4	満足	満足	エネルギー不足	
5	302	3.94	3.05	8.29	18.8	10.1	満足	若干少ない	エネルギー不足	
8	306	4.06	3.27	8.00	17.0	9.5	9.1	満足	普通	
平均	305	4.00	3.17	8.61	14.6	9.3				
30kg位										

畜産研究所では牛群検定情報分析センター機能を十分に発揮し、より酪農家が牛群の状態を把握しやすいようコンピュータプログラムを開発しました。

手書きの検定成績表で牛の成績を頭に入れ、牛を見て判断することを基本としますが、加えてこのシステムが酪農家をサポートしています。

取り組みの成果

【平成19年度グループ別勉強会について】



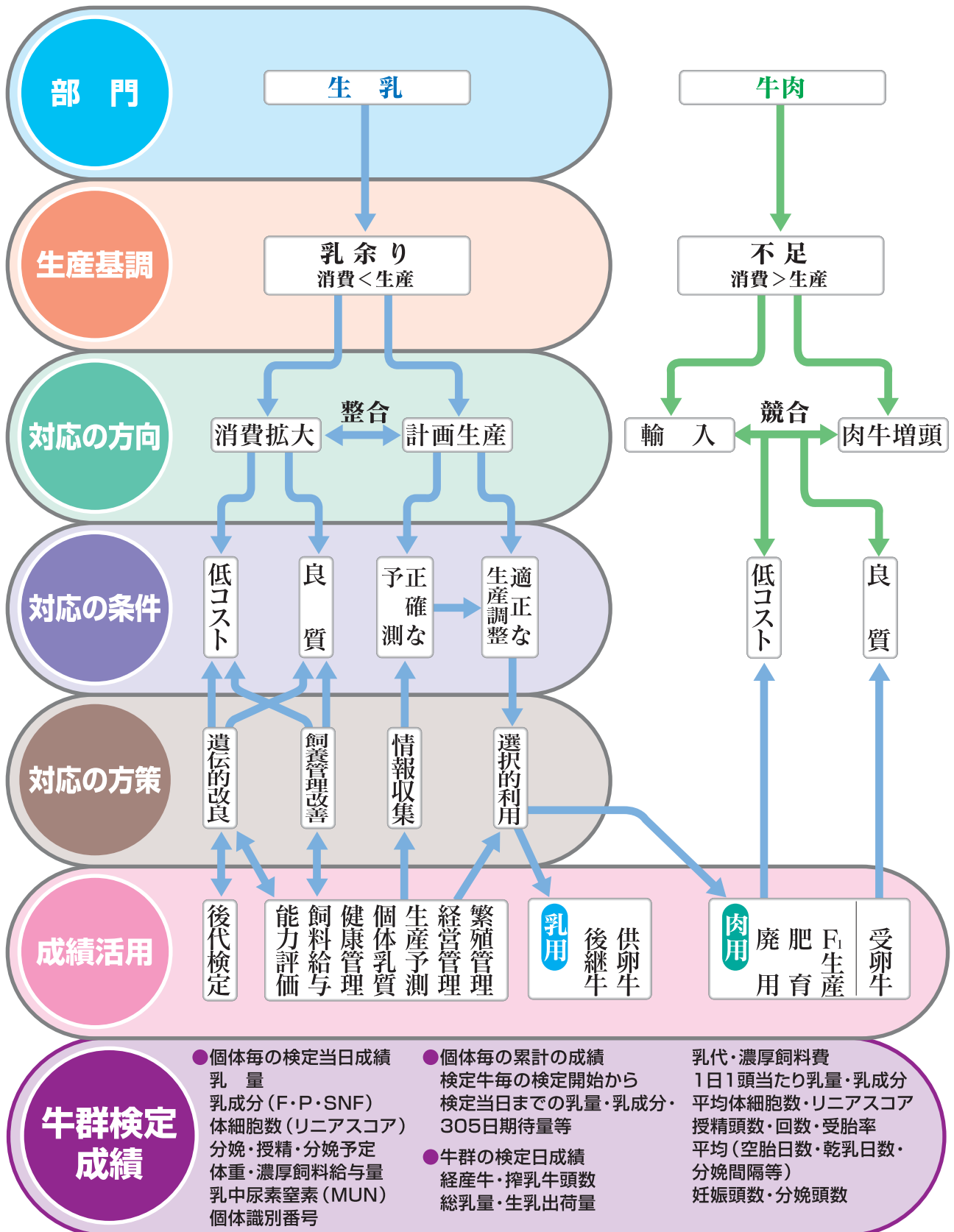
徳島県内各地で勉強会が開催されるようになりました。夫婦、親子での参加を呼びかけているので、意志の疎通が容易となり、経営改善のための迅速な行動につながっています。

参加者の農場では、年間乳量が1頭当たり1,000kg以上伸びた事例が増えています。

徳島県では、酪農家戸数が減少するなか、牛群検定農家数及び頭数が、ここ数年、着実に増加しています。

牛群検定概念図

酪農は基調として常に厳しい需給バランスが求められる生乳と絶対的な資源不足の牛肉を消費者ニーズに応じて生産する複雑高度な技術情報集的産業であり、牛群検定の活用こそが巧みにその効率・合理的な生産基盤を形成する。



- 個体毎の検定当日成績
 - 乳量
 - 乳成分 (F・P・SNF)
 - 体細胞数 (リニアスコア)
 - 分娩・授精・分娩予定
 - 体重・濃厚飼料給与量
 - 乳中尿素窒素 (MUN)
 - 個体識別番号

- 個体毎の累計の成績
 - 検定牛毎の検定開始から検定当日までの乳量・乳成分・305日期待量等
- 牛群の検定日成績
 - 経産牛・搾乳牛頭数
 - 総乳量・生乳出荷量

- 乳代・濃厚飼料費
 - 1日1頭当たり乳量・乳成分
 - 平均体細胞数・リニアスコア
 - 授精頭数・回数・受胎率
 - 平均 (空胎日数・乾乳日数・分娩間隔等)
 - 妊娠頭数・分娩頭数